

需要の増加を目指す一年に

一般社団法人 全国さく井協会 第 49 回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月23日、東京都中央区の鉄鋼会館で第49回定時社員総会を開催し、令和4年度事業報告、決算を承認し、令和5年度事業計画及び予算の報告を了承した。

総会の冒頭、足立敏之会長から挨拶があり「今年度の一般会計予算は114兆円であるが、このうち公共投資は6兆円で全体の僅か5%しかない。補正予算で何とか補填できている状況にある。公共投資をしっかりと堅持していかねばならない。国土強靱化対策を継続するための枠組みを作ったが、次の対策の詳細はまだ決まっていない。皆さんには必要な事業等、地域の要望をどんどん出してもらいたい」と力強く思いを述べ、会員の更なる協力を求めた。



開会にあたり挨拶する足立敏之会長

今年度は役員改選が行われ、会長には足立敏之参議院議員を再選、副会長・会長代行に若林直樹中央支部長、副会長に高木繁成近畿支部長と西川済中国支部長らを承認した。



総会会場

令和5年度の重要事業としては、次の3つを挙げた。(1)資格業務の推進 ①地下水利用設計管理技術者 ②登録さく井基幹技能者 ③建設キャリアアップシステム(CCUS)の能力評価 (2)他団体との協力連携の強化 ①(一社)地下水技術協会と共催の春秋オンライン講習会 ②都道府県の職業能力開発協会技能検定(さく井技能士試験)の助勢 (3)いい井戸の日行事 4年振りに11月8日、近畿支部で開催

最後に議長を務めた島田恭宏副会長が「コロナも落ち着き平常が戻ってきた。新任の若林直樹会長代行のもと新しいさく井協会をスタートさせよう」と挨拶し、総会を終了した。

今年は4年振りに懇親会を88名の参加で行い、乾杯の発声で若林直樹会長代行は「防災井戸の必要性を訴えるとともに資格制度にも注力し、需要の増加に向けて取り組んでいきたい」と就任の決意を述べた。予定の時間は瞬く間に過ぎ、最後に高木繁成近畿支部長が「秋は大阪でお待ちしております」と述べ、1本締めでお開きとなった。

総会、懇親会に参加いただいた皆様、大変お疲れさまでした。



懇親会スタート